



代っ子通信

令和7年9月2日
<第25号>
校長 平塚智康

2学期のスタート ~まちがいや失敗を恐れず挑戦しよう!~

長かった夏休みも終わり2学期がスタートしました。9月1日は朝から30度を超える猛暑日でしたが、子どもたちはたくさんの荷物を抱えがんばって登校してくれました。元気に登校できたこと、まずは2学期最初のハナマルです。始業式では、子どもたちに次のような話をしました。

【始業式の話】

(～前半省略～ 本題から)

さて、野球好きの校長先生にとって、夏と言えば高校野球の甲子園大会、今年も感動の場面がたくさんありました。今年の甲子園で、校長先生が一番心に残ったのは、県岐阜商業の横山君のことです。横山君は、生まれつき左手の指がなく、右手1本でバットを握り、バッティングをします。それなのに、他の選手と同じようにバットを振り、ヒットを打ちます。投げる時も、右手にグローブをつけボールを捕球し、捕ったらグローブを左手に持ち換えて、右手でボールを投げます。横山君は、他の人より大きなハンディを持って

いるのに、そんなことはみじんも感じさせない明るさと元気で、野球と真剣に向き合い、野球の強い高校でレギュラーの座をつかみ、甲子園に出場し、そしてその甲子園でもヒットを打ったり、フライを捕ったりと大活躍したのです。左手の指がないというハンディを言い訳にせず、また人と比べて落ちこんだりせず、自分にできる工夫をしながら一生懸命努力をし、楽しそうに野球をしている横山君の姿に、校長先生はすごく感動しました。

みなさんにも、得意なことや苦手なこと、できることやできないことがいろいろありますね。例えば、計算が得意な人・苦手な人、漢字を書くのが得意な人・苦手な人、走るのが得意な人・苦手な人、泳ぐことができる人・できない人、大勢の中で勉強するのが得意な人・苦手な人・・・得意なことも、苦手なことも、できることも、できないことも、それらはみんな一人一人が持った個性なのです。苦手なことやできないことがあっても、落ちこむ必要なんて全然ないのです。大事なのは、自分にできることを、周りの人たちの力をかりながら、精一杯やればいいのです。

今日から2学期が始まります。勉強のこと、運動のこと、友だちとのこと、苦手なことがあっても、失敗してもへっちゃらです。困った時には、先生が教えてくれるし、助けてくれます。どんどん間違えて下さい。どんどん失敗して下さい。間違えることも、失敗することも、全然はずかしいことではありません。昔から「失敗は成功のもと」と言います。

それに、みんな一人一人には、必ずよい所があります。「自分のよい所」に自信を持っていれば、少しくらいできないことやうまくいかないことがあっても、「ま、いいか。次がんばればいいさ。」「自分なら次はきっとできる!」と立ち直って前に進んでいけます。

みんなには、間違いや失敗を恐れず、苦手なことにも自分なりに挑戦していく勇気を大切にしてほしいと思います。2学期も自分を成長できるよう、みんなでがんばっていきましょう!



＜夏休み作品展より＞

ふるさと探検隊長大使 5年生宮野さん

8月に、加賀市教育委員会の「ふるさと探検隊長大使称号授与式」が行われ、5年生の宮野甲太朗さんが、ふるさと探検隊長大使の称号を授与されました。

加賀市教育委員会が作成した「加賀市ふるさとマップ」には、加賀市内の60か所の名所・旧跡が記されています。(例えば山代なら、古総湯、薬王院、魯山人いろは草庵、九谷焼窯跡展示館など)

それらの目的地をめぐり、見つけたものや感じたことを、文章・イラスト・写真など好きな方法で「探検手帳」に記録していきます。1枚の探検手帳には、10か所の記録を取ることができます。そして、全60か所すべて制覇すると、この「ふるさと探検隊長大使」の称号が授与されるのです。(1年生の時に配布されたものがなくなってしまった人、ほしい人は担任の先生に申し出てください。)

宮野さんは、1年生の時に配布された「ふるさとマップ」に興味を持って、お家の人と毎年少しずつ名所巡りを始めたそうです。そして、5年生となり、ついに全60か所をコンプリートしたというわけです。すごいですね。



加賀市教育委員会が市内の名所旧跡を巡った児童を表彰する「ふるさと探検隊長・大使」の称号授与式は8日、加賀市教委が市内の名所に33人目となる隊長、20人に与えられた。富野さんは小学1年の時から「ふるさとマップ」に記された名所巡りを始めた。今年6月に全60か所を回った。山中温泉菅谷町の「ろくろの里 工芸の館」が印象に残ったとし、「いろんな茶わんがあり、違いを知ることができてよかったです」と話した。式では松本向貴教育長が称号授与書と記念品を手渡した。

ふるさと探検隊長大使に宮野さん

加賀市教委

市民会館で行われ、山代小5年の富野甲太朗さん(10)に33人目となる隊長、20人に与えられた。写真。

<北國新聞 8月10日朝刊より>

先生も奮闘！～県学校給食コンクール最優秀賞 二木栄養教諭～



<北陸中日新聞 8月30日朝刊より>

夏休み、教職員も一生懸命研修したり、勉強したりしました。中でも、8月にあった県学校給食調理コンクール自由献立の部では、本校の二木葉子栄養教諭らが最優秀賞を受賞しました。

栄養教諭や調理員さんは、安全やコストを考えながらも、地場産物を取り入れて地域の特色を給食に表現し、子どもたちに伝えようと日々研究を重ねています。今回は、二木先生の日頃からのそうした努力が実を結んだと言えるのではないでしょうか。今、子どもたちに人気の「そぼろッコリーご飯」(鳥そぼろご飯に、加賀市特産のブロッコリー、炒り卵を混ぜたそぼろご飯)も、このコンクールの自由献立が始まりだそうです。

他の教職員も、夏季休業中、たくさんの研修を受け、教師としてのスキルの向上に努めました。